

2020年度関東地区協議会 地区ブランディング醸成委員会

委員長 増山 拓也

<p>現 状 分 析</p>	<p>現在、関東地区協議会への参画や大会の参加者は年々増加してはいるものの、関東地区内の会員の人数から比較すると依然として低い状態です。加えて、地区協議会への参画には地域差も生じています。これらは、各LOMの地区に対する考えや青年会議所を取り巻く環境の変化に原因があると考えます。これからの時代に即した青年会議所の姿を考え、地区のスケールメリットを各メンバーが体感し、多様な人たちや地域とつながり、関東地区協議会内の絆を創出することが求められます</p>
<p>目指すべき状態</p>	<p>関東地区協議会のブランドが統一され、たくさんのメンバーが参加している状態 LOMやブロックの垣根を越えてメンバーがつながり、関東地区協議会で活発に交流している状態 時代に即した青年会議所の姿を捉え、各地域で活躍している状態 関東地区協議会に参画したメンバーが成長し、各LOMやブロックで活躍している状態 各地会員会議所がそれぞれの地域をさらに輝かせている状態</p>
<p>連 携 概 要</p>	<p>■地区大会の企画・運営 関東地区協議会の運動を最大限に発信する場として、第68回関東地区大会相模原大会を開催します。地区協議会の各委員会と連携して、参加者の成長につながる様々な分野の情報発信を行い地域や各団体を巻き込んだ活動や、LOMの垣根を越えた活動をしている相模原青年会議所の取り組みを学んでいただきます。 スケールメリットを感じられる地区大会を通じて、普段出会うことのない会員同士が交流できるような機会を創出することで、会員の横のつながりを広めていきます。</p> <p>■地区大会メインフォーラムの開催 関東地区大会のファンクションとしてメインフォーラムを開催します。 地域から必要とされ、LOMやブロックを牽引していく存在として、関東地区協議会が変化の起点となり人と人・地域と地域をつなぐパートナーシップを学ぶ機会を提供します。 地区大会のフォーラムを通して、LOMや地域で活躍できる人材の開発やLOMやブロックの垣根を越えたつながりを醸成し、メンバーが成長する機会を提供します。</p>
<p>S D G s</p>	<p>7. 8. 9. 11. 16. 17</p>
<p>政 策 手 法</p>	<p>■地区大会の企画・運営 1.地区協議会への参画の地域差という課題を解決するために、地区協議会のスケールメリットを活かした運動、情報、事業を学んでいただくことで、地区協議会へのメンバーの参画意識を高めていきます。 2.様々な地域の会員が出会い、情報共有できる地区大会を構築するために、相模原青年会議所の地域を巻き込み、LOMの垣根を越えた活動を学んでいただくことで、会員と会員がつながり、LOM同士の横のつながりを創出していきます。</p> <p>■地区大会メインフォーラムの開催 会員や地域住民とパートナーシップを築いて地域の様々な課題を解決していくためには、人と人・地域と地域のつながりによって解決し、経済は成長するという考えを学ぶことで、経済活動は環境と社会のつながりの上に成り立っているということを学んでいただきます。</p>
<p>パ ー ト ナ ー</p>	<p>相模原市（行政・政策協力）三井住友トラストクラブ株式会社（協賛）フィリップモリス（協賛）アサヒ飲料株式会社（協賛）ハルエネ電気（協賛）BMW(協賛) アウディジャパン（協賛）株式会社キャンビット（実施支援）ADS（実施支援）</p>